

「ただいま」が増える暮らし



今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

金曜日の仕事を終え、少し軽くなった気持ちで空港へ。向かう先は、奥深い魅力に満ちた、ある東北の地です。週末から月曜日までは、地元の方々を顔にあわせ、お祭りなどのイベントに参画して、エネルギーを充電。火曜日には東京へ戻り、仕事へ――。突然、私の妄想にお付き合いいただきましたが、近年こうした「二地域居住」という暮らし方が注目されています。ひとつの場所に縛られず、複数の地域を行き来しながら生活するスタイルです。かつては考えもしなかった選択ですが、どこでも働ける環境が整い、ライフスタイルを大切にする機運が高まる中で、少しずつ現実味を帯びてきました。

二地域居住は多様な生き方を叶える一方で、移動費や滞在費といった課題もあります。そこでJALグループは、マイルを活用した仕組みでその負担を和らげる、移動にやさしいご提案を始めています。昨年のプログラムには、定員の3倍以上という、予想を超える反響をいただきました。「情報や物に囲まれた日常が、必ずしも幸せではないと気付いた」「新たなつながりが生まれ、心の余裕やウェルビーイングを感じるようになった」「都内では見られない広い空。楽しそうに走り回る子どもを見て、来てよかったと感じた」。

20代から60代まで幅広い世代の方の声に触れ、年齢の壁がないことに正直驚くとともに、「ただいま」がいくつもある暮らしの可能性を実感しています。私の第1のふるさは福岡であり、慣れ親しんだ土地、友人、文化など心落ち着く安寧の場所ですが、第2のふるさとという新しい関係性、いくつになってもワクワクする気持ちは忘れたくないものです。

新しい人が加わることで、地域に動きが生まれる。個人は出会いを通じて仕事も生活も豊かになる。二地域居住には、そんな力があると思います。来年度は対象地域をさらに拡大し、「第2のふるさと」を持つ人をもっともっと応援していきます。来月から新しい環境に身を置く方も多いのではないのでしょうか。進学や異動といった大きな変化でなくとも、これからどんな場所でも、どんな時間を過ごしたいか――ふと考えてみるのが、新しい一歩になるかもしれません。JALグループはその一歩にこれからも寄り添ってまいります。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。

イラスト／山本祐希子

とっとりみつこ／1964年福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社(客室乗務員)。2019年に客室安全推進部長、2020年に執行役員、客室本部長、2022年に常務執行役員、客室本部長、2023年に専務執行役員、カスタマーエクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCCOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。

